

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	令和5年10月18日（水） 午前9時30分～11時50分
開催場所	西脇市役所 3階 大会議室
出席委員の氏名又は人数	14名
欠席委員の氏名又は人数	3名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー5名、事務局3名、各事業担当者
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	1 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンについて 2 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンの具体的な取組内容について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（開会あいさつ） 本日は出席いただき感謝申し上げます。 西脇市と多可町には強いつながりがあり、過去から広域行政を活発に進めている。また、今年8月には、県下では唯一となる連携した協議会を立ち上げ、大阪・関西万博を契機とした持続可能な地域づくりに向け取組を進めている。万博の会長は西脇市出身の経団連十倉会長である。 本日は連携事業の取組について、委員の皆様幅広い視点で意見を賜りたい。</p>
事務局	
西脇市長	

事務局	<p>(委員等出席者の紹介) 新委員の自己紹介、出席者の紹介</p> <p>(以後、浅野会長が進行)</p>
会長	<p>(議事1 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンについて) 資料1に基づき、事務局から説明</p> <p>(質問等なし)</p> <p>(議事2 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンの具体的な取組について) 資料2に基づき、各事業担当者から説明</p> <p>【No.1からNo.12までの事業について】</p>
委員	<p>西脇市と多可町とそれぞれに良いところがあるので、これからも連携を取ってお互いの良いところを高め合っていたきたい。</p>
委員	<p>(No.9介護認定審査会事業について) コロナで介護施設の職員が多く辞めており、その影響で入所定員を下回っていると聞いているが、施設の充足率について、どのようになっているか。</p>
担当者	<p>市内6施設の直近の状況を確認したところ、いずれも満床である。西脇市においてそのようなコロナによる影響はないものと考えている。</p>
委員	<p>表向きはそうかもしれないが、実態をきちんと把握してほしい。</p>
担当者	<p>施設への運営指導や情報交換の機会を捉えて、確認をしていきたい。</p>
会長	<p>(No.2医療従事者確保対策事業について) 西脇病院において、どのようにして医師数の維持をし</p>

<p>担当者</p>	<p>ているのか。</p> <p>当院は、へき地医療拠点病院なので、県の養成医師制度に基づく研修医等の養成医師の派遣が毎年あることが大きい。また、神戸大学への働きかけを行っている。</p> <p>【No.13からNo.16までの事業について】</p>
<p>委員</p>	<p>文化やスポーツにおいて、子どもから高齢者まで親しまれるような、また活性化されるような活動ができるよう、自分たちも頑張りたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>舞台芸術の発表となると、お金や集客の面などで課題があるので、定住自立圏の枠組で実施していただけるのは非常にありがたい。</p> <p>課題と思っていることは、オリナスホールの予約について、受付開始日の朝一番で行っても、市役所関係の予約が入っており申込みできないことである。ぜひ、市民の地域文化の向上に対する願いというものを受け止めてほしい。</p> <p>【No.17からNo.20までの事業について】</p>
<p>委員</p>	<p>西脇市及び多可町の魅力を高めて、少しでも人口を増やすということが大きな目標だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>(No.19地域事業者成長支援事業について)</p> <p>県民局と協働して高校に出向いて、企業就職説明会を毎年行っているが、どこの企業も人材不足が大きな問題となっている。</p> <p>播州織の生産量も年々右肩下がりで、新しい成長産業にもっと投資をした方がいいと個人的には考えている。</p> <p>また、西脇市と多可町に来てくれる人を、今後実施するオープンファクトリーに誘導する方法について、いい案を出してもらえればと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>(No.18農産物直売所運営事業について)</p> <p>近年、新規就農者が減っており、就農者が減っていると思うが、どの程度減っているのか。</p>

担当者	西脇市の新規就農者は年間1名ないし2名である。それ以上に高齢などの事情でやめられる方が多いので、全体として減っている。
委員	具体的に就農者は何名くらいか。
担当者	西脇市の認定農業者は30名から35名ほどで推移している。
委員	西脇市と多可町での認定農業者の人数はいくらか。
担当者	多可町が36名であるので、全体で70名前後であると考ええる。
委員	(No.17地域ブランド普及開発推進事業について) 地域おこし協力隊の方の思いは強く、その活動は本当に立派だと感じている。さらなる展開を希望する。 また、当初は委員に農協の方も入っておられたが、いつの間にか外れている。北播磨広域定住自立圏には、農協の方は委員として入っているのか尋ねたい。
担当者	北播磨広域定住自立圏において、農協と連携した農業の振興の事業はない。今後の課題として検討したい。
委員	(No.18農産物直売所運営事業について) 北はりま旬菜館について、令和4年度から6年度の指定管理料をなくしたという話があった。令和4年度で出荷額が2,000万円ほど減っているが、これはこのまま行くのか。基準のようなものはあるのか。
担当者	令和5年度については、収入の向上が見込まれる状況である。指定管理料については、引き続き自主運営で進めていただきたいと考えている。不測の事態等があれば協議の上考えていきたい。
委員	指定管理料が発生しないように努力していただければと思う。

委員	<p>(No.20有害鳥獣有効活用事業について)</p> <p>鳥獣防止柵について、設置している町と設置していない町があり、設置していないところからシカが多く出てきて事故が起きるといふことがあるので、対策を考えていただきたい。</p>
担当者	<p>地元からの要望に基づき設置している。地元負担があり、地元の考えによるところもあるため、全てを鳥獣防止柵で囲むことは難しい。</p>
委員	<p>シカだけでなくイノシシも出てくる。その辺の対策もしっかり考えていただきたい。</p> <p>【No.21からNo.26までの事業について】</p>
委員	<p>ごみ処理について、1キロ当たりの単価が他地域と比較して安いので、引き続きこのままでお願いしたい。</p> <p>斎場について、待機者が多く発生しているようなら、施設の拡充など検討をお願いしたい。</p>
委員	<p>ここに来て初めてこうした事業に税金が使われているということを知った。もっと周知をすれば意見も出てくると思う。</p> <p>【No.27からNo.36までの事業について】</p>
委員	<p>(No.27地域公共交通ネットワーク事業について)</p> <p>ドライバーの2024年問題が喫緊の課題となっている。</p> <p>むすブンの利用実績について、令和3年度、4年度、可能ならば5年度の見込みを聞きたい。</p>
担当者	<p>令和3年度が29,120人、令和4年度が36,200人。令和5年度は、稼働台数を5台から6台に追加したため、利用実績は増加する見込みである。</p>
委員	<p>やはりデマンド型交通の利用が増えてきているというのがよく分かった。</p>
委員	<p>2年後の万博に向けて多可町も協議に入った。誘客の</p>

	<p>目標を万博に合わせるのか、万博後に合わせるのか、色々と調整をしているところである。田舎は田舎なりのおもてなしを考えていく必要があるということで、今後の課題として取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>バスツアーをずっとやっているが、都会の方は田舎へ来るのがとても嬉しいと言ってくれる。 都会の方にこの田舎を知ってもらって、田舎のいいところをたくさんアピールしていきたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>(No.32木質バイオマスエネルギー利用促進事業について) 最近、燃料代が大変高騰しており、木質チップの需要が多くなっている。チップに関連して、新聞報道を賑わせている問題については、裁判所の公正な判断をいただきながら解決に向けて鋭意取り組んでいるので、御理解いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>(No.33再生可能エネルギー導入推進事業について) 都会からの移住者に移住の決め手を聞いたところ、景色がいいからということであった。都会の方にとって、この景色は宝物である。太陽光パネルの設置に当たっては、せっかくのこの財産をつぶしてしまうことの無いように、十分に注意していただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>(No.28国道427号整備促進事業) 175号線のバイパスの整備が進んでいる。175号線と427号線の連絡道路について、もっと議論のテーブルに上げていていただけないかというのが多可町の商工業者の要望である。</p>
<p>委員</p>	<p>観光においても、多可町までの時間が非常にかかるということが課題である。斎場のところから抜ける道が出来たら一番早いので、これが実現されることを期待している。</p>
<p>委員</p>	<p>他の委員からも発言があった情報共有について、西脇市と多可町で情報の共有にギャップがある。 地域住民全体に共有できるようなシステムがあれば良</p>

<p>会 長</p> <p>担当者</p> <p>会 長</p> <p>事務局</p> <p>多可町長</p>	<p>いと思う。</p> <p>実際に、北はりま定住自立圏共生ビジョンの取組については、どのように発信しているのか。</p> <p>両市町のホームページにて、会議の資料を掲載するなど情報発信している。また、共生ビジョン冊子は、両市町の図書館等で閲覧できるようになっている。</p> <p>色々と委員から要望が出ているので、検討いただきたい。</p> <p>(事務連絡)</p> <p>(閉会あいさつ)</p> <p>委員の皆様によくの意見をいただき感謝申し上げます。 コロナで思うように実施ができていない部分についても、今後さらにパワーアップして将来像の実現を目指して参りたい。</p> <p>本日の発言にもあったが、大阪、神戸へのアクセスは非常に大きな問題であるので、ぜひ検討に加えていきたい。</p> <p>引き続き委員の皆様の御協力をお願いする。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市市長公室政策推進課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>